

## ミ・ミ・タウン（ミャンマー）



私はミャンマー出身で、現在、社会福祉・救済・再定住省災害管理局（DDM）の副局長として働いているミ・ミ・タウンです。

私は 2011 年に工業省傘下の No (1) Heavy Industries Enterprise で働き始めました。そして 2016 年、連邦公務員委員会から災害管理局(DDM)のスタッフとして選ばれました。2016 年 2 月 19 日から DDM に勤務しています。当時はサガイン地域事務所に配属され、災害リスク軽減活動、特にモニワ郡とパール郡では CSO と一緒に強風対策、シュエポー郡の村々では地域統合型マルチハザード早期警戒システム（RIMES）とコミュニティ防災（CBDRM）に関する活動をしてきました。サガイン地域で 2 年間勤務した後、DDM のカレイ県事務所に異動し、その後アシスタントディレクターに昇進してシャン州事務所へ赴任しました。財務、救済、訓練・啓発部門、災害管理活動の分野など、事務局の仕事を管理する責任者でした。

シャン州での 3 年間の勤務の後、私は副所長に昇進し、ヤンゴン地域の東ヤンゴン県に赴任しました。県事務所をリードする立場として、事務局の管理業務と、県災害管理機関と連携した災害管理活動を担当しています。私の部署では、ポスターやリーフレットの配布、災害管理コースのトレーナートレーニング（郡レベル）、ワークショップ（州および郡レベル）、CBDRM トレーニング、防災青年ボランティアのトレーニング（TOT）など、市民の意識向上や能力開発プログラムを行っています。私はこうしたトレーニングプログラムに参加するとともに、災害を受けた人々に対する緊急救援活動を行っています。

ミャンマーはあらゆる災害に見舞われやすく、災害リスク管理のためのコミュニティ能力を高める必要があるため、私は ADRC 客員研究員プログラムに参加し、日本の災害リスク管理のための高度な技術を学びたいと強く思っています。このプログラムの後、私は、特にミャンマー災害リスク軽減行動計画（MAPDRR - 2017）の 4 つの主要活動に関連して、災害リスク管理のための能力開発および住民啓発プログラムにおいて、私の部署と母国ミャンマーに貢献することができると思っています。これらの主要活動は、「仙台防災枠組」の 4 つの優先行動と合致しています。フィールドオフィサーとして、防災の分野でより自信を持って仕事ができるようになりたいと思っています。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった日本政府と ADRC に感謝します。また、私が日本に滞在している間、ADRC のスタッフの皆様には、お互いを理解し、サポートし合える様々な国からの客員研究員を含め、真摯にサポートしていただき、心より感謝申し上げます。